

事業所職員向け 児童発達支援事業 自己評価表

実施期：2021年12月末

事業所名：子ども発達支援センター フレンズあすわ

※黒字=回答時点での実施状況

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な設置基準は満たした設計となっています。 ・定員12名に対して、プレイルームは狭さを感じる時がある為、人数を分散させるなど工夫をしています。 ・プレイルームを、身体を使った遊びのエリアとおもちゃなど座って遊ぶ遊びのエリアに仕切りで分けることで安全を確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な設置基準は満たされており、十分な職員の配置はしています。 ・利用者様の人数や発達年齢、性格や情緒などによっては、1対1の対応が求められるため、応援職員の協力を得て、療育を行う曜日もあります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚情報など、視覚的な環境は整っています。自分の座る位置など写真などで分かりやすく工夫しています。 ・屋内はバリアフリーだが、玄関の段差や押戸など課題は感じられます。 ・医療的ケアの必要な利用者様にとっては、構造上不十分な部分があると思われます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の帰宅後は、毎日の掃除や除菌などを行っています。 ・空気清浄機を購入し、各クラスに設置しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・クラス運営に関しては、各担当同士で話し合いを行っています。 ・毎日の終礼では勤務職員が参加し、気になる事があれば意見を出し合い、改善を行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、ガイドライン評価を実施し、改善案を検討しています。 ・改善点があれば、できる範囲内での改善に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、ホームページで結果を公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は受けていませんが、外部のボランティアや実習生を受け入れ、終了時には必ずご意見をいただき、支援や環境改善に反映させています。 ・今後も児童発達ガイドラインを活用して定期的に評価を実施していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、中止になった研修もありますが、予定としては十分な機会がありました。 ・研修形態がオンライン研修などになり、機会は確保されています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの職員でカンファレンスを行い、発達チェック表や記録を基にモニタリングと計画立案を行っています。 ・計画作成前に保護者とゆっくり面談をする機会が無い為、保護者のニーズを計画に反映しづらいところがあります。事前に送迎時に確認したり、電話にて要望を確認しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・初級ポーターページ発達チェック表を使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの「本人支援」から優先度の高いものを2~3項目、「家族支援」「地域支援」に分けて立案しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画をさらに具体化した「月次記録」を基に支援を行い、その記録を利用日ごとに行っています。 ・月末には「月次記録」の振り返りと次月に向けての取り組みを明確にし、評価期間（半年）かけてPDCAサイクルを行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの主となる職員がリーダーとなり、年間計画・月間計画を立てています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・年間の活動計画を作成し、活動を行っています。 ・年間計画を基に、月間計画を立てています。また、PDCAサイクルで振り返り・立案を行っています。

関係機関や保護者との連携	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	・利用者様の発達段階や認知面の課題に合わせて支援項目を設定しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	・職員配置表を基に、その日の出勤者の役割分担の伝達を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	・終礼を行い、その日の支援の振り返りやヒヤリハットの有無を確認しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	・月次記録を行い、毎月の振り返りと次月の支援方針を明確にしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	・月次記録の振り返りから、必要であれば支援項目の変更を行っています。また、大きく心身の状況の変化があった際には、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	・支援会議には児童発達管理責任者や担当職員などが参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	・並行通園の利用者様が多いので、並行通園先と定期的に又は必要に応じて情報共有を行う事で、ご本人の育ちを多方面から支援できるよう連携を図っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	・主治医や並行通園先の先生、相談支援専門員などと情報共有に努め、連携して支援の方針等を共有しています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	・アセスメント時に連携先を確認し、必要に応じて連絡のやり取りを行っています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	・「子育てファイルふくいっ子」の作成を共同で行い、事業所としては必要な箇所と「引継ぎの為のサマリーシート」を作成し、情報共有や情報提供を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	・福井っ子ファイルの「引継ぎの為のサマリーシート」を作成し、情報提供を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	・コロナ禍の為今年度は実施出来ませんが、フレンズあすわ単独利用の利用者様を対象に、あすわ東こども園との交流の機会は確保しています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	・児童発達支援センターの立場から、福井市自立支援協議会子ども部会の委員として会議に参加し、地域の課題解決に向けて話し合いを行っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	・連絡帳でのやり取りや、送迎時の時間を活用し情報共有を行っています。 ・ご家族によっては電話やメール等でのやり取りも行っていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	・コロナ禍の為今年度は実施出来ませんが、実施計画は立てていました。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	・利用開始時には契約時に運営規定の説明や料金等について書面を介して説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	・個別支援計画更新時には、面談の時間を設けモニタリング報告と個別支援計画の説明・同意を得ています。 ・コロナ禍においては、感染状況に鑑み、書面にてやり取りをさせて頂いた時期もあります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	・連絡帳でのやり取りを基本とし、その中で必要であれば電話やメールで個別に相談に乗っています。 ・子育ての悩みによっては、個別療育の実施や、個別の面談を行っています。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用した「ファミリーワークショップ」を開催し、その説明やご案内・参加の声掛けを行っています。 ・コロナ禍の為今年度は実施出来てませんが、「フレンズ参観日」を計画し、療育の見学やご家族同士の交流の機会は確保していました。 ・土曜日利用の年長児クラスの保護者様を対象に、就学に向けての話や不安の共有・情報提供する場として保護者会を企画・実施しました。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容に応じては電話相談や面談での相談時間を確保しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、ホームページ内のブログに「フレンズ通信」を掲載し、療育内容や次月の予定などを広報しています。 ・一斉メール体制を取り、各家庭に直接配信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に守秘義務についての説明を行い、情報開示の際は、関係機関に限るなどの同意と承諾を得ています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・表情や分かりやすい言葉、視覚情報や代替コミュニケーション等を用いて、意思の疎通を図っています。 ・外国籍の保護者様には平仮名やローマ字表記などの配慮を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、今年度も実施出来ていませんが、地域開放の企画(夏祭り)は計画していました。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当を中心にマニュアルの見直しを行っています。 ・毎月、火災・地震・水害など想定を変えて避難訓練を行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地震想定を考えた際に防災頭巾の必要性を感じ、購入しました。訓練時には着用しています。 ・年間計画に沿って定期的に火災・地震・水害などの災害発生を想定した避難訓練を行っています。 ・避難訓練実施後は振り返りを行い、次回の避難訓練に活かしています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的な情報の把握はしていますが、医師の指示書など書類としては整っていない部分もあると思われます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書のもと、対応を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・「事故報告」「ヒヤリハット」「ヒヤリハットにも満たないが気になる報告」をまとめています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理・接遇委員会を中心に月替わりの目標を設定し、毎月振り返りと感想の共有を図っています。 ・年に2回、Kチェック、Cチェックを行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、身体拘束の対象となる利用者様はなく、身体拘束は行っていません。

